

『ARBとCCB併用療法の新たな潮流 ～最適な高血圧治療を目指して～』

JSH2009では、24時間にわたる厳格な降圧が求められ、心血管イベントのハイリスク集団である糖尿病、CKDおよび心筋梗塞後患者においてはより厳格な降圧目標が設定されている。新たに臨床に導入されるARB/CCB配合剤には、単に服薬アドヒアランスの向上のみならず、優れた降圧効果と血管の質の改善、臓器保護作用が認められ、より良い高血圧治療が期待される。



第53回日本糖尿病学会年次学術集会 ランチョンセミナー46

日時

2010年5月29日(土)
12:00~12:50

会場

第9会場 岡山全日空ホテル 1F 曲水の間
岡山県岡山市北区駅元町16-1

座長

梅田 文夫 先生
行橋中央病院 院長
福岡糖尿病臨床研究所 所長

ARBとCCB併用療法の 新たな潮流

～ 最適な高血圧治療を目指して ～

演者

東條 克能 先生
東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科 教授

共催：第53回日本糖尿病学会年次学術集会/第一三共株式会社